

# 施設のあらまし

結城市の水道は、地下水を水源にして、ふたつの浄水場から給水されていましたが、平成7年度から県西広域水道用水供給事業（令和2年4月より県南西広域水道用水供給事業）からの受け入れと併せて安全でおいしい水を供給しています。

水の使用量は季節や天候、1日の時間帯によっても大きく変化しますが、必要な時に必要な量だけ水を送るのが理想的です。このため結城市では、ポンプの速度制御運転という方法を採用し、水の量の変化に応じてポンプの回転速度を自動的に調節し、常に安定した給水を行っています。

万一、ポンプが故障したり停電になったときでも、それぞれ予備のポンプ、非常用電源装置により給水が長時間止まらないように備えています。

また、林浄水場では、無人施設である本町浄水場の様々な情報を、遠隔装置によって監視しています。



▲深さ約200mの深井戸から水中ポンプで水を汲み上げます。



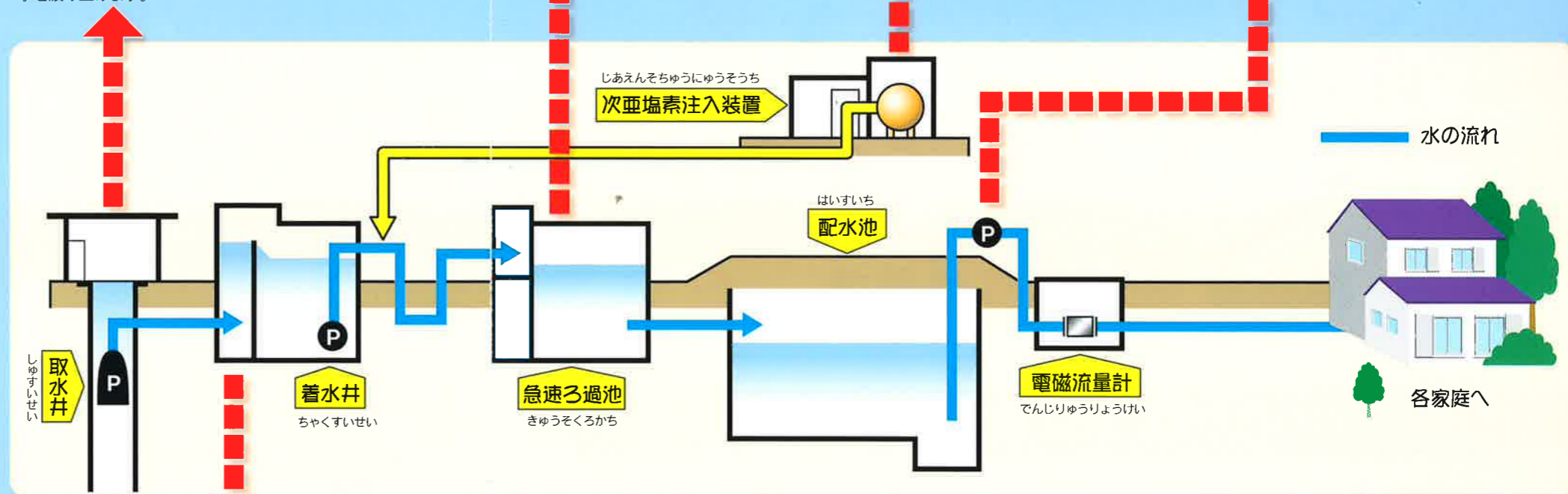
▲急速ろ過池で鉄やマンガン、浮遊物を取り除きます。



▲次亜塩素酸ソーダを加えて水を消毒するポンペ室。



▲配水池に溜めた水に配水ポンプで圧力をかけ、必要な量だけ送り出します。



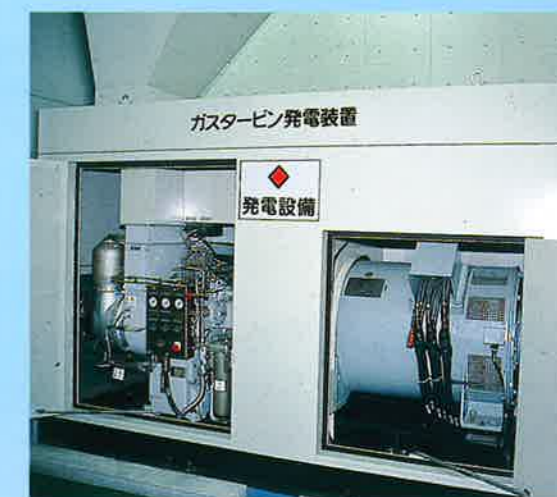
▲林浄水場(昭和49年完成)



▲汲み上げた水を着水井に集めます。



▲浄水場の設備を1か所で監視できる電気計装室。



▲停電など非常時に使用する自家発電機 (ガスタービン式発電設備)